

消防しまね

会長あいさつ



財団法人 島根県消防協会
会長 松浦嘉昭

消防団員、消防職員の皆様にあつては、日頃、防災の最前線にあつて、地域の安心・安全を守るため、昼夜を問わず献身的にご尽力されていることに対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、私は本年七月七日付をもちまして、財団法人島根県消防協会会長に就任いたしました。本会は、自治体消防制度発足と同時期に設立され、消防団とともに歩んでまいりました。

しかしながら、ご承知のとおり、現在、公益法人改革等への対応や安定的な事業運営など、様々な課題を抱えております。そのような時期に私が会長に就任いたしましたことは、誠に荣誉なことであるとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いであり

ます。県都、松江市消防団の団長としての経験を生かし、また、皆様方の英知をいただきながら全力で重責を果たしてまいる所存でございます。

近年、消防団を取り巻く環境は、少子化をはじめとした社会構造の変化に伴い団員数の減少など、非常に厳しいものがあります。しかしながら、住宅等における火災も依然としてあとを絶たず、地震や風水害などの災害は、年々大規模複雑化の傾向にあります。

これらに的確に対応し、住民の安心・安全を確保するためには、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいた、消防団の力が不可欠であります。

本県消防団におきましても、消防団員の減少と高齢化、サラリーマン団員の増加に伴う昼間消防力の低下など、地域

防災に対する強化が喫緊の課題となっております。

こうした中で、わずかずつではあります女性団員が増加していることは、誠に心強い限りです。その内容は、火災予防広報活動をはじめ、応急手当普及活動や一人暮らし高齢者宅訪問など、女性ならではの視点をいかした活動はもちろんのこと、消火・救助やその他の災害活動時の対応など多岐にわたることから、消防団全体の活性化、ひいては地域防災体制の充実強化につながるものと確信しております。

また、消防団員は地域のリーダーであるとともに、サラリーマンであればそれぞれの事業所において中心的な役割を担う方々であります。経済状態が厳しい中ではあります。消防団協力事業所表示制度の更なる普及に向け、消防団と企業との連携を今後ますます深めてまいりたいと考えております。

長い歴史の中で、幾度となく市町村合併を重ね、今日の各市町村消防団の発展を見たわけでありますが、地域にな

くてはならない消防団が弱体化していくことは、地域そのものの弱体化につながるものであります。

今こそ、消防団の存在意義と使命を再確認し、「島根ら

第六十二回 島根県消防大会

七月三十一日(土)安来市民会館、総務省消防庁大庭誠司消防・救急課長をはじめ、多数の来賓をお迎えし、県下から消防関係者約四百名が出席し、第六十二回島根県消防大会を盛大に開催しました。

大会では、叙勲を受けられた方々をはじめ、消防庁長官表彰及び日本消防協会会長表彰受章者の披露を行い、続いて島根県知事表彰・島根県消防協会会長表彰を行いました。

表彰式に続き、総務省消防庁消防団員確保アドバイザーで広島市西消防団女性隊長 神村登紀恵氏から「仲間を増やそう」と題して講演がありました。

なお、島根県知事表彰・島根県消防協会会長表彰の各章は次のとおりです。



講演の様子

【島根県知事表彰】

- 表彰旗 東出雲町消防団 八名
- 功労章
- 永年勤続功労章 百三十七名

○表彰状

- 幼年消防クラブ 三団体
- 少年消防クラブ 一団体
- 女性消防クラブ 三団体
- 企業団体 一団体
- 自主防災組織 一団体及び一名

【島根県消防協会会長表彰】

- 指揮薦 大田市消防団 三十名
- 特別功績章 八十七名
- 功績章 百三名
- 表彰章 三百二十二名
- 勤続章

第二十二回

全国消防操法大会

江津市消防団敢闘賞

十一月十二日(金)愛知県蒲郡市競艇場駐車場において、第二十二回全国消防操法大会が開催されました。

大会は、口蹄疫の発生に伴い、宮崎県と鹿児島県が出場を辞退されましたが、開催地



競技中の様子



愛知県からポンプ車の部、小型ポンプの部の両方に出場され、ポンプ車の部に二十三隊、小型ポンプの部に二十三隊が出場し競われました。島根県代表としてポンプ車の部の三番目に出場した江津市消防団は、立派な操法で敢闘賞を受賞されました。

出場隊員は次のとおりです。

出場隊員	
担当	氏名
団長	横田 賢次郎
指揮者	小松 伸
1番員	笹木 孝政
2番員	渡利 耕平
3番員	幸地 恭男
補欠員	坂根 正一

(敬称略)



会長と出場隊員・関係者の皆さん

江津市消防団長コメント

去る十一月十二日、愛知県蒲郡市で開催されました、第二十二回全国消防操法大会におきまして、本市消防団(黒松分団)は小型ポンプの部に出場し、敢闘賞を受賞いたしました。当日は、寒くて風がやや強く吹いている状況でしたが、選手は島根県の消防団代表として、すばらしい操法を披露してくれました。

消防署をはじめ、会社や家族の皆様方には、長い間、ご苦勞をおかけしました。また、県内の消防関係者の皆様方からは、激励・ねぎらいのお言葉を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

これを機に、一層の消防技術の練磨に努め、地域住民の負託に応えられるよう精進してまいります。

ご声援ありがとうございます。

第五十四回

島根県消防操法大会

八月一日(日)安来市穂日島町中海ふれあい公園において、県下から選抜された消防団から、ポンプ車十一隊、小型ポンプ二十四隊が参加されました。

開催地安来市及び安来市消防団並びに安来市消防本部・消防署には格別のご支援・ご協力をいただきました。大会運営が円滑にできたことに対しましてお礼申し上げます。

入賞された消防団は次のとおりです。



小型ポンプの部

順位	団体名
優勝	松江市消防団玉湯方面団
第2位	安来市消防団安来方面隊
第3位	江津市消防団
第4位	安来市消防団広瀬方面隊
第5位	益田市消防団

ポンプ車の部

順位	団体名
優勝	松江市消防団玉湯方面団
第2位	安来市消防団伯太方面隊
第3位	益田市消防団
第4位	奥出雲町消防団
第5位	津和野町消防団



第十六回
全国女性消防団員活性化奈良大会

七月二十九日（木）奈良市「なら100年会館」において全国から女性消防団員及び消防関係者が参加し「未来へつづく 女性消防団員の絆」をテーマに、第十六回全国女性消防団員活性化奈良大会が開催されました。

大会では、活動事例発表（四団体）、火災予防啓発劇（三団体）、「多様化する女性消防団員活動」をテーマにしたパネルディスカッション及びプロ野球解説者川藤幸三氏の記念講演がありました。

大会終了後には、情報交換会が開かれ、全国各地から集まった団員同士交流を深めました。

なお、本県からは、松江市消防団・出雲市消防団から女性消防団員及び消防関係者が参加されました。

次回は、平成二十三年十一月十一日（金）香川県高松市において、第十七回全国女性消防団員活性化香川大会が開催されます。



会場の様子



参加者の皆さん

平成二十二年
度

消防団団長研修会

十月二十一日（木）益田市において、平成二十二年度消防団団長研修会を開催しました。研修会は県下の消防団長・消防長・消防署長及び事務担当者約五十名が参加しました。

研修会では、島根県消防防災課村上正人管理監が「防災・危機管理」と題して、認知症の人と家族の会益田地区代表小原美智子氏と副代表千振和子氏が「認知症を正しく理解するため」と題して講演がありました。研修終了後、意見交換会を開催し県下消防関係者の連携を深めました。



中国五県消防関係者大会

平成二十二年度中国五県消防関係者大会は、八月五日（木）山口市において、中国五県から消防職・団員及び消防関係者約七百人が参加し盛大に開催されました。

大会は、各県の消防職・団員が意見発表を行ったほか、「消防防災施設・設備の充実強化及び消防団員確保に係る処遇改善等について」国へ要望することを決定しました。大会終了後、意見交換会が開催され他県消防職・団員との親睦を深めました。

なお、各県代表として意見発表された方々は次のとおりです。

安全・安心な町づくりを目指して

— 地域に根ざした消防団活動 —

鳥取県琴浦町消防団 消防主任 谷田 和樹

音楽隊員としてのやりがい

島根県益田広域消防署津和野分遣所 主任 田中 夕喜

平成二十一年八月の美作市集中豪雨災害における消防団の活動について

岡山県美作市消防団作東方面隊 副方面隊長 島 真弘

心に寄り添える活動を模索して

広島県竹原市消防団第六分団 副分団長 伊藤 菊

豪雨による大土石流が防府で発生

山口県防府市消防団 団長 原田 幸男

●●● 本年度の主な事業実施状況について (4~11月) ●●●

開催日時	開催内容	開催場所
平成22年 4月21日~22日	島根県消防操法審査員講習会 (松江市)	松江市
5月19日	島根県消防協会監査 (松江市)	松江市
21日	島根県消防協会副会長会	松江市
25日	島根県消防協会理事会・評議員会 (松江市)	松江市
7月6日	島根県消防協会臨時理事会	松江市
29日	第16回全国女性消防団員活性化奈良大会 (奈良市)	奈良市
31日	第62回島根県消防大会	安来市
8月1日	第54回島根県消防操法大会	安来市
25日	評議員選定委員会 (松江市)	松江市
26日	島根県消防協会正副会長会	松江市
9月16日	第29回全国消防殉職者慰霊祭 (東京都)	東京都
10月21日	日本消防協会正副会長会議・理事会 (東京都)	東京都
10月21日	島根県消防協会正副会長会	益田市
11月11日	平成22年度消防団体長研修会 (益田市)	益田市
12日	第22回全国消防操法大会激励交流会 (蒲郡市)	蒲郡市
12日	第22回全国消防操法大会	蒲郡市

第4回 島根県女性消防団員活性化推進大会の開催について

本県では、消防団を取りまく社会環境の変化から、近年、消防団員数が漸減しており、その団員数の確保と活動の活性化が喫緊の課題となっています。こうした課題に対処するためには、男性団員の加入促進対策はもとより、多くの女性の方々に消防団員になっていただき、その活動の一層の充実と消防団全体の充実強化につなげることが重要であります。このため、県内の女性消防団員が一堂に集い、情報交換を行うとともに、幅広い知識を養い、防火防災思想の普及や女性消防団員の加入促進を図るために毎年開催しています。



開催日時

平成二十三年二月六日(日) 十三時三十分から十六時まで

開催場所

くにびきメッセ国際会議場 (松江市学園南一丁目二一)

大会内容

講演 総務省消防庁消防団員確保アドバイザー 三重県津市消防団津方面団 分団長 櫻川政子氏

● 第二十回全国女性消防操法大会出場隊壮行式

住宅用火災警報器の普及状況の結果について (平成22年6月時点)

島根県消防防災課

消防法の改正により設置義務化された住宅用火災警報器の普及率について、総務省消防庁において、平成二十二年六月時点での推計が実施されました。その結果、島根県における住宅用火災警報器の推計普及率は三五・八%で、平成二十一年十二月時点の推計普及率(二七・六%)から八・二ポイント上昇しています。島根県では、この結果を県内の消防本部に通知するとともに、今後、更なる普及促進活動の推進を呼びかけていくこととしております。

消防本部名	構成市町村名	普及率	義務化年月日
松江市	松江市、東出雲町	41.1%	H23.6.1
浜田市	浜田市	23.7%	H23.6.1
出雲市	出雲市、斐川町	32.7%	H23.6.1
益田広域	益田市、津和野町、吉賀町	38.0%	H23.6.1
大田市	大田市	26.4%	H23.6.1
安来市	安来市	49.5%	H23.6.1
江津邑智	江津市、川本町、美郷町、邑南町	39.3%	H23.6.1
雲南	雲南市、奥出雲町、飯南町	35.1%	H23.6.1
隠岐広域連合	西ノ島町、海士町、知夫村、隠岐の島町	26.6%	H23.6.1
島根県		35.8%	

※一定規模以上の共同住宅等で自動火災警報装置が設置されていることにより住宅用火災警報器の設置が免除されている場合は、普及世帯として推計している。

住宅用火災警報器を取り付けましょう

平成22年度全国統一防火標語

「消したかな」あなたを守る 合言葉



二月六日(日) 松江市のく
にびきメッセにおいて、第四
回島根県女性消防団員活性化
推進大会を開催しました。
この大会は、本県において
も消防団員数が減少しており、
団員の確保と活動の活性化の

「女性ならではの優
しさや細やかさを生かすこと
も大切。しかし人を助けるの
に男性団員も女性団員もない。
皆さんも積極的に訓練に参加

ため、男性団員はも
とより、多くの女性
団員の加入促進を目
的として毎年開催し
ています。
大会は、消防団員
確保アドバイザーで
三重県津市消防団津
方面団 分団長 櫻
川政子氏を講師に迎
え、『デージー分団
の花を咲かせて』魅
力ある女性消防団と
なるために』と題
して講演がありました。



するよう心がけてほしい。」
と自らが消防団員になったき
っかけも交えた講演に、参加
者は熱心に耳を傾けていま

第4回 島根県女性消防団員

活性化推進大会

消防しまね

題 字 財団法人 島根県消防協会
会長 松浦嘉昭書
発行所 松江市東津田町一七四一番地三
財団法人 島根県消防協会
印刷所 松江市西川津町六六七番地一
松栄印刷有限公司



松江市女性消防隊へ花束贈呈


た。
講演後、十月十九日に横浜
市で開催される、第二十回全
国女性消防操法大会に出場す
る松江市女性消防隊の紹介を
行いました。

平成二十三年(二〇二一年)
東北地方太平洋沖地震
三月十一日十四時四十六
分頃に三陸沖を震源とする
マグニチュード9.0の巨
大地震が発生し、この地震
により被災された方々に対
しまして、心よりお見舞い
申し上げます。
また、被災地で救助活動
にあたられている消防職員、
消防団員に対し敬意を表し
ます。

がんばれ 消防団!!

第63回 島根県消防大会
●とき/8月6日(土) 13:30~
●ところ/島根県立大学 講堂
(浜田市野原町)

第55回 島根県消防操法大会
●とき/8月7日(日) 8:30~
●ところ/島根県立大学 グラウンド



日本消防協会会長表彰



総務大臣祝辞 (久保信保消防庁長官)

第六十三回(平成二十二年)度日本消防協会定例表彰式が平成二十三年二月二十四日、ニッショールホールにおいて挙行されました。式典には、表彰旗表彰を受章された消防団の代表が出席されました。

なお、消防団活性化基金事業の一環として、この式典に出席された消防団員及び配偶者の旅費の一部を助成しました。

本県からの晴れの受章の栄に輝く受章団体(者)は次のとおりです。



西岡武夫参議院議長祝辞

◎表彰旗

安来市消防団

◎特別功労章

島根県消防協会会長

松江市消防団

団長 松浦 嘉昭

◎功績章

松江市消防本部

消防正監 林 繁幸

松江市消防団

副団長 津森 征洋

浜田市消防団

副団長 稲岡 邦雄

出雲市消防団

副団長 中筋 仁志

出雲市消防団

副団長 亀滝 和利

大田市消防団

副団長 安藤 茂男

◎精績章

安来市消防団

分団長 山崎 季幸

江津市消防団

副団長 小笠原 清

雲南市消防団

副団長 朝山 猛

東出雲町消防団

副団長 富士本 数彦

美郷町消防団

副団長 澤野 光博

吉賀町消防団

副団長 正木 宏始

海士町消防団

副団長 金谷 謙造

隠岐の島町消防団

副団長 若本喜代繁

松江市消防本部

消防司令補 森江 和好

松江市消防本部

消防司令補 野津 孝志

松江市消防団

副団長 角田祐一郎

松江市消防団

副団長 田中 孝一

松江市消防団

副団長 井上 聡

松江市消防団

分団長 野津 英幸

松江市消防団

分団長 野津 民夫

浜田市消防団

副団長 梅谷 照男

浜田市消防団

副団長 長富 幸男

出雲市消防団

分団長 高橋 秀夫

出雲市消防団

分団長 須山 俊二

出雲市消防団

分団長 佐藤 悟

出雲市消防団

分団長 石飛 潔

益田市消防団

分団長 猪俣 良則

大田市消防団

分団長 光井 賢治

大田市消防団

分団長 松浦 英己

安来市消防団

分団長 鶴原 徹

安来市消防団

分団長 神庭 良和

江津市消防団

分団長 竹中 隆佳

雲南市消防団

分団長 細木 剛

雲南市消防団

分団長 錦織 弘

奥出雲町消防団

分団長 森櫻 修治

奥出雲町消防団

分団長 田食 道弘

飯南町消防団

分団長 伊達 弘文

飯南町消防団

分団長 中祖 勉

斐川町消防団

分団長 武部 純実

川本町消防団

分団長 山根 昭久

美郷町消防団

副団長 神崎 達夫

邑南町消防団

副団長 日高 浩二

津和野町消防団

分団長 久保田 昭

吉賀町消防団

分団長 中村 秀暁

海士町消防団

分団長 楠見 節雄

隠岐の島町消防団

分団長 牧野 克己

◎勤続章

松江市消防本部

消防司令長 山根 章宏

ほか百二十九名



日本消防協会高木会長から特別功労章を授与される松浦会長

消防庁長官表彰

平成二十二年度消防功労者消防庁長官表彰式が平成二十三年三月三日(木)ニッショールにおいて挙行されました。

消防団活性化基金事業の一環として、この式典に出席された消防団員の旅費の一部を助成しました。
本県からの晴れの受章の榮に輝く受章者は次のとおりです。

功労章

川本町消防団 団長 山根 武文

永年勤続功労章

松江市消防本部 消防司令長 安達 真治

出雲市消防本部 消防監 板垣 祐治

出雲市消防本部 消防監 大森 敏明

大田市消防本部 消防司令長 鳥笥尾 博

江津邑智消防組合消防本部 消防司令長 植田 節男

江津邑智消防組合消防本部 消防司令長 城納 隆士

益田広域消防本部 消防司令長 中島政之輔

益田広域消防本部 消防司令 日熊 優伸

隠岐広域連合消防本部 消防司令 山本 悟

隠岐広域連合消防本部

消防司令 吉岡 忠夫

松江市消防団 副団長 角田祐一郎

松江市消防団 分団長 野津 良文

浜田市消防団 副団長 下谷 巧

浜田市消防団 副団長 野田 政利

浜田市消防団 分団長 天津 義廣

浜田市消防団 分団長 寺井 正道

出雲市消防団 分団長 原田 義信

出雲市消防団 分団長 岩崎 崇

益田市消防団 分団長 石川 丈二

益田市消防団 分団長 齋藤 博史

益田市消防団 分団長 下森 敦之

大田市消防団 分団長 熊谷 哲治

大田市消防団 分団長 光井 賢治

安来市消防団 分団長 田中 稔蔵

江津市消防団 分団長 山藤 幸男

美郷町消防団 副団長 漆谷 武

美郷町消防団 分団長 坂根 徳也

邑南町消防団 分団長 有江 秀則

津和野町消防団 分団長 上田 雅男

津和野町消防団 分団長 久保田 昭

隠岐の島町消防団 分団長 佐々木菊保

隠岐の島町消防団 分団長 鈴木 光元

公益財団法人

島根県消防協会設立へ

本会は、公益財団法人への移行認定に向けて条件整備を整えてまいりましたが、このほど島根県から公益認定等に関する法律(略称)に基づく認定を受けました。

昭和二十三年十一月に財団法人として設立以来、約六十三年にわたり消防団員及び消防職員の活動の支援を行う法人として活動してまいりましたが、新法人設立を機に更なる活動の充実と事業発展に努め、これまで以上に消防団員及び消防職員、消防関係者をはじめ県民の皆様の負託に応え、安心・安全な地域づくりに寄与してまいりたいと考えております。

三月二十三日(水)に開催しました本会理事会・評議員会において、平成二十三年度事業計画等が決定しましたので、主な事業についてお知らせします。

一 消防思想の普及徹底を図る事業

(1) 第六十三回島根県消防大会

八月六日(土) 島根県立大学講堂

(2) 表彰事業
消防団員、消防職員、消防協力者、協力団体等の表彰

(3) 島根県殉職消防職団員慰霊祭

七月中旬 島根県消防学校慰霊碑前

(4) 第二十七回全国消防殉職者慰霊祭

九月六日(火) ニッショール

(5) 平成二十三年度中国五県消防関係者大会

八月十七日(水) 松江市

(6) 第十七回全国女性消防団員活性化香川大会

十一月十一日(金) 高松市

二 消防知識・技能の向上を図る事業

(1) 第五十五回島根県消防操法大会

八月七日(日) 島根県立大学グラウンド

(2) 平成二十三年度消防団体長研修会

七月中旬 松江市

(3) 平成二十三年度消防団員指導員研修

平成二十四年一月二十四日(火)

～二十六日(木) 島根県消防学校

(4) 第三十八回消防団幹部特別研修

平成二十四年一月十七日(火)

～二十日(金) 日本消防会館

(5) 第十一回消防団幹部候補中央特別研修

男性団員…平成二十四年二月七日(火)

～九日(木) 日本消防会館

女性団員…平成二十四年二月十三日(月)

～十五日(水) 日本消防会館

(6) S-I-K-Y-T研修

(7) 健康増進器具配置事業

三 消防防災活動の強化を行う事業

(1) 第二十回全国女性消防操法大会

十月十九日(水) 横浜市

(2) 消防広報誌(消防しほね)発行事業

(3) しほね消防団活性化総合事業

(4) 住宅用火災警報器普及推進運動の展開

四 島根県水難救済会からの受託事業

五 会員の福利厚生を行う事業

消防団員福祉共済事業、消防互助年金事業、消防団員等弔慰救済事業

平成二十二年
消防団員
指導員研修

一月十二日から十四日まで、平成二十二年消防団員指導員研修を島根県消防学校で実施しました。

研修は、二泊三日の泊まり込みで行い、消防団幹部として、火災ぼうぎよ担当指導員として必要な知識・技術の修得など幅広い研修になりました。

なお、研修には、松江市四名、浜田市一名、出雲市二名、大田市二名、奥出雲町二名、飯南町一名、邑南町二名、吉賀町二名の計十七名の消防団員が参加されました。



第三十七回消防団幹部特別研修及び
第十回消防団幹部候補中央特別研修

平成二十三年一月十八日から二十一日まで、日本消防協会主催で第三十七回消防団幹部特別研修が実施されました。この研修は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、消防団幹部に対し特別研修を行い、消防団の指導者を養成することを目的とするもので、本県からは、江津市消防団 山根喜久延副団長が参加されました。

また、消防団の幹部として活躍が期待される若い消防団員に対し研修を実施し、将来の消防団幹部を養成することを目的とした、第十回消防団幹部候補中央特別研修が日本消防会館において実施されました。

研修は、各都道府県から男性消防団員及び女性消防団員

女性消防団員
リーダー会議

女性消防団員の中でリーダーとして活動している団員が日頃の活動上の課題や問題点

が参加し、男性の部が二月八日から十日まで、女性の部が二月十四日から十六日まで実施されました。本県からは次の五名が参加されました。

男性の部

浜田市消防団
班長 小川 徹

浜田市消防団
団員 内藤 正治

浜田市消防団
団員 渡邊 大輔

女性の部

浜田市消防団
団員 山藤 美佐代

浜田市消防団
団員 室崎 美子
(敬称略)

などについて、情報・意見を交換し、今後の消防団活動に役立てるため、平成二十二年十二月十日(金)日本消防会館において開催されました。本県から、浜田市からは浜田市消防団(女性分団)小川悦子分団長が参加されました。

実施事業について

平成二十二年十二月一日から平成二十三年三月までに実施した事業をお知らせします。

平成22年

12月10日 女性消防団員リーダー会議 (東京都)

平成23年

1月12日～14日 平成22年度消防団員指導員研修 (松江市)

18日～21日 第37回消防団幹部特別研修 (東京都)

26日 島根県消防協会正副会長会 (松江市)

2月6日 第4回島根県女性消防団員活性化推進大会 (松江市)

8日～10日 第10回消防団幹部候補中央特別研修・男性消防団員 (東京都)

14日～16日 第10回消防団幹部候補中央特別研修・女性消防団員 (東京都)

17日 市町村消防実務担当者研修会 (大田市)

18日 都道府県消防協会事務局長会議 (東京都)

24日 日本消防協会正副会長会・理事会・代議員会 (東京都)

24日 第63回日本消防協会定例表彰式 (東京都)

3月13日 出雲市消防団S-KYT研修 (出雲市)

16日 島根県消防協会正副会長会 (松江市)

23日 島根県消防協会理事会・評議員会 (松江市)

平成22年度全国統一防火標語

「消したかな」

あなたを守る 合言葉